

「なくては困る」企業をつくる！ 独創アイディアでお客様ニーズに 応える大田区スピリット

岡田鋳金

うめナビ vol.5-9

岡田鋳金(大田区新蒲田、増田道
造社長、03・3734・7101)
は、金型を必要としない精密鋳金
加工を得意としており、主に医療
機器等の精密機器部品の加工を業
としてしている。

中小企業が林立する大田区で
は、従来は各々の町工場が得意分
野の技術力を駆使し、それらを集
約することで良質な製品供給を
行ってきた。同社も大田区の町工
場の1つとして活動してきたが、
1980年代後半より集合住宅の
増加、規制の強化が進み、茨城工場
へ移転することとなった。ここで
問題となったのが、今まで大田区
の他の工場と補完し合って活動し
ていた工程が完結しなくなってい
まったこと。そこで、大田区で廃
業して職を失った多数の技術者や
工場長を貴重な人材として同社に
受け入れることで、社内で一貫し
て設計から出荷まで対応できる体
制を築いた。さらにデジタル技術



「ミニ大田区」を実現した茨城工場の様子



増田社長のモットーは
「お客様第一主義」

のIT化
を進め、ノ
ウハウを
データ化、
機械をネッ
トワーク化して技術力のギャップ
をカバーするようにした。「大田
区なら各工程は別工場、別会社で
行いますが、当社では全て1つの
工場で賄うため、顧客への納期、製
品コストを大幅に削減することが
可能となります。なにより、全工程
を引き受けることで、顧客の様々
なニーズに合わせた生産体制、『変
種変量生産』が実現できる。これ
を『ミニ大田区』と呼び、この取組
みを20年以上かけて築いてきまし
た」と増田社長は語る。

社長のモットーは「お客様第一
主義」。常に顧客への良質な製品・
サービスの提供や様々なニーズに
対応することで、単なる「下請企
業」ではなく、「パートナー企業」
として、顧客にとってなくては困
る企業にしていきたいと考えてい
る。そのため、日々の情勢の変化を
敏感に察知し、固定観念にとらわ
れることなく仕事のやり方を見直
し、より良い製品を提供していく
ことをめざし、「当社がお客様に
とって、なくては困るパートナー
企業となるためには、いかなる企
業努力も惜しまない。工場は大田
区ではないが、大田区のモノづく
りの精神は受け継がれている」と
増田社長は話す。これからも大田
区モノづくりスピリットを受け継
いだ同社の成長に終わりはない。